



高知大学
Kochi University

All roads lead to the future リード

Lead

コミュニケーションペーパー

2019 冬号
Winter

No. 028

¥0
TAKE FREE

〈特集〉

文学に隠された
声なき声を読み取る
恐竜時代の地層から
地球温暖化を考える

ぼくらのキャンパスライフ

四国初の同好会

ウミガメ同好会 かめイズム

高知大学合唱団

私が紹介したい高知大学

第2回高知大学フォトコンテスト

高知大学ニュース

〈特集〉

文学に隠された 声なき声を読み取る

文学作品の背後には、その時代特有の意味が隠されてはいないか？
耳を澄ませば、
声なき声が聞こえるのではないか？
人文社会科学部准教授の田鎖数馬先生は、
こうした思いから、
日本近代文学の研究を深めています。



有名な文学論争を 新たな視点で解き明かす

「文学作品には、それぞれの時代に生きる人間の声なき声のようなものが、ときに示されているように思います」と語る田鎖先生。そうした声を新たな視点からすくい上げ、人間や時代の一面を解明する研究を行っています。

主な研究対象は、昭和2年に谷崎潤一郎と芥川龍之介が関わった有名な文学論争です。論争のきっかけとなったのは、ストーリー性を重視する谷崎に対して、芥川が突きつけた「小説で重要なのは話の筋や面白さではない」という批判。これを受けて、谷崎は雑誌『改造』に連載していたエッセイ『饒舌録』で反論します。すると、芥川は同じ『改造』に評論『文芸的な余りに文芸的な』を寄稿して再反論。その後、両者の論争はさらにヒートアップしますが、芥川の突然の自殺によって幕を下ろします。

多くの近代文学研究者が研究の題材としてきた、この文学論争。田鎖先生はこれまでにない視点により、論争の背後に隠された意味のすくい取りに挑みました。新たな切り口は、「表現」という言葉です。

「両者のエッセイや評論を読み込むうちに、2人ともこの言葉を重視していたことがわかりました。特に芥川は、芸術という言葉は表現の一語に尽きる、とまで繰り返して主張したほどです。私自身、表現という



言葉が持つイメージに魅力を感じたこともあり、これを軸に調べてみることにしました」と田鎖先生は研究の発端を明かします。

「表現」という言葉を軸に 谷崎と芥川の関係の研究

まず調査の場としたのは国立国会図書館です。「表現」という言葉がいつの時代に定着したのか、明治・大正期に刊行された1000冊をはるかに超える辞書を片っ端から調査。この結果、辞書に収録されるようになったのは明治末からだと判明しました。

「谷崎や芥川が文学活動を始めたのも、ちょうど同じ時期。両者ともに、まだ新鮮な響きを持っていた表現という言葉にひかれ、これを重視する共通の文学観を構築していきます。この時期に書かれた両者の

エッセイなどを細かく見ると、使われている言葉がよく似ています。しかも、明らかに谷崎が芥川の影響を受けて、言葉を取り込んでいることもわかりました」と田鎖先生。こうして、「表現」という言葉を軸とし、谷崎と芥川がじつは共鳴し合っていたことを明らかにしました。

しかし、その後、両者の文学観はずれていきます。「表現の仕方として、谷崎は綿密な構成が大切だと考えていました。芥川も当初は同じ考えだったのですが、徐々に、人間の詩的な精神を表現することを重視するようになり変わっていきます」（田鎖先生）。こうして両者は対立し、芥川は、「刺青」谷崎の初期の代表作、明治43年のころの谷崎は詩人だったが、いまは詩人にはほど遠いと批判。「大いなる友よ、汝は汝の道にかれ」という痛烈な言葉を残して自殺します。

田鎖ゼミに入って、好きな作家の文学を研究

「表現」という言葉に関連し、田鎖先生は文学表現を規制する「検閲」にも関心を持っています。研究の対象としたのは、谷崎潤一郎の短編『人魚の嘆き』(大正6年)。作品には4枚の挿絵があり、3枚は裸体。そのうちの2枚が検閲に引っかかり、発売禁止処分になったといわれています。

田鎖先生は当時の資料をよく調べた結果、じつは発売禁止にならなかったことを発見。「東京の近代文学館という施設で、2枚の挿絵があったと思われるページが、ハサミか何かで切り取られている単行本を見つけたんです。恐らく、この2枚の挿絵を何とかすれば刊行しても良い、という指示があり、印刷された本からあわてて切り取ったのだでしょう。この切り取りを発見したときには高揚感があった」と田鎖先生は振り返ります。

谷崎、芥川以外の作家では、安部公房に注目しています。当時、社会問題になった失踪を扱った『燃えつきた地図』(昭和42年)という作品が研究



ゼミの様子

テーマです。着目したのは、この本に掲載されている朝日新聞の紙面。なにか気になって、同日の新聞を確認したところ、意外にも同じ朝日新聞でも北海道版のものでした。

「わざわざ東京版ではなく、北海道版を掲載した可能性があります。安部公房は祖父の出身地である北海道に思い入れがあり、作品の主人公の名前も地名にちなんだ根室洋です。



田鎖先生の著書
谷崎潤一郎と芥川龍之介
「表現」の時代



人文社会科学系
人文社会科学部准教授
田鎖 数馬

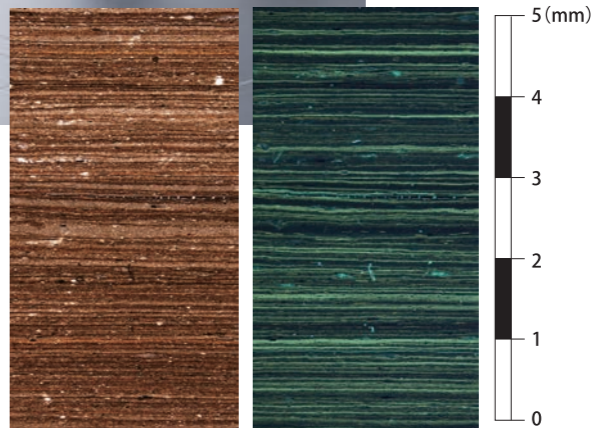
京都府生まれ。京都大学文学部卒業、同大学院博士課程修了。博士(文学)。2006年、高知大学に赴任。最も印象深い文学作品は安部公房の『燃えつきた地図』。「学生時代、何をして生きていけばいいのかという大きな不安がありました。近代文学の作品には、それと通じる感情を持った人物が表現されていて、心に強く響きました」

〈特集〉

恐竜時代の地層から地球温暖化を考える

恐竜が繁栄していた約1億年前の白亜紀。理工学部講師の長谷川精先生は、当時の地球環境がわかる地層をモンゴルで奇跡的に発見。これを分析することにより、地球温暖化の未来を考えると、画期的な研究に取り組んでいます。

白亜紀の年縞の顕微鏡写真。5mmの中に約90分の縞模様がある。



透過顕微鏡画像 (茶色の縞が夏)

蛍光顕微鏡画像 (輝緑色の縞が夏)

地球温暖化の未来図を知りたい

地球温暖化は近年、世界の最重要課題のひとつになっています。さまざまな角度から盛んに研究されているなか、長谷川先生の着眼点はじつに独創的。かつてあった超温暖化期の地球環境をもとに、現在を考え、未来を推定しようとしています。研究対象とする時代は、中生代の白亜紀。当時、地球はどういった環境だったのでしょうか。

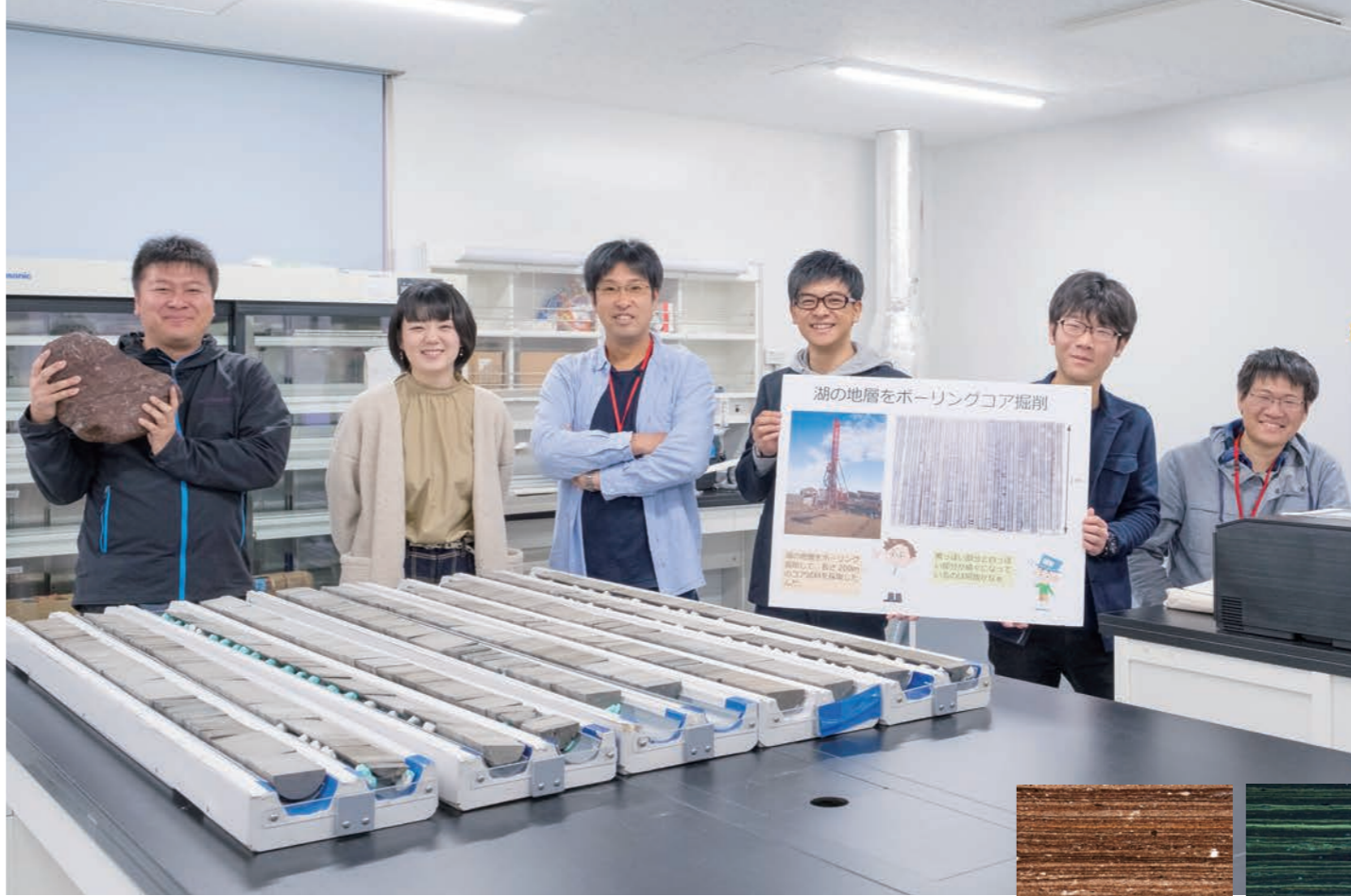
「二酸化炭素濃度が1000ppmほどもあり、現在よりも温暖化が進んでいた時代です。北極や南極には氷床がなく、高緯度域にも恐竜が生息していました。海はプランクトンの大発生や海洋循環の停滞によって酸素が乏乏。海底にはヘドロがたまって、環境が悪化していました」と長谷川先生が説明します。現在の二酸化炭素濃度は約400ppmで、白亜紀の半分以下。極地には氷床が存在し、世界の海はヘドロだらけではありません。しかし、このままの状況が続くと、どうなるか…。

「(1000年ほどで、二酸化炭素濃度は一気に上昇しました。じつは過去3千万年を振り返っても、ここまで上がったことはありません。ものすごく短期間で、人間が地球環境を変えているのです。このままでは、やがて二酸化炭素濃度は白亜紀レベルまで高まるかもしれません。いままさに進んでいる温暖化の未来図を知るため、私は恐竜時代の地球環境を調べ、長期的な環境変化について研究しています」

1億年前の稀な地質をモンゴルで大発見!

地球環境の変化を解明するため、長谷川先生がメインで研究しているのは、1年ごとの堆積物が縞模様となつて見える「年縞」と呼ばれる湖の地層。学生時代、モンゴルのゴビ砂漠をキャンピングしながら、2カ月間にわたって調査したときに「何となくのヒラメキで、面白そう」と目をつけたものです。2010年、再びモンゴルを訪れ、それが年縞であることを確認。200mの深さまでボーリング掘削し、これ以上ないほどの貴重なコア試料を採取しました。

「1億年前の白亜紀の約3百万年間にわたる地層が記録されており、世界で最も古い年縞ということになります。奇跡的な大発見で、すごいものを掘り出したなと思いました。高知や海洋生態系の変化などについて研究することを考えています。今後新たな謎の解明が、高知大学から発信されることでしょう。」



モンゴルの現世湖での掘削 (-30℃で結氷した湖上で掘削)



ジュラ紀の砂漠の地層の前(サイオン国立公園)

大学海洋コア総合研究センターに運び、日本ではこの施設にしかない高度な分析機器を使い、コア試料を使って気候の変動を読み取っています」

年縞は1年の厚みが約0.1mmで、髪の毛一本程度。この薄い層の記録に、過去の自然環境を読み解くためのヒントがたくさん詰まっています。例えば、コア試料の白っぽい部分は雨が少なく水位が低い時期、黒っぽいのは水位が上昇した時期のもの。また元素の組成によっても、雨量の程度がわかるということです。長谷川先生はこうして数年ごとや10年単位で、気候がどう

変わったのかを研究してきました。気候の変動といえば、大ヒット映画『ディ・アフター・トゥモロー』を思い浮かべる人もいるのではないのでしょうか。地球温暖化の影響で海洋の循環に異常が生じ、氷河期に突入するというストーリーです。長谷川先生によると、この映画は実際にあったグリーンランドの氷床コアの研究をもとにしたものだそうです。

「この研究では氷河期には気温が一気に上昇したのち、急激に下降する気候変動があることが明らかになっています。これは氷河期だけのもの、温暖

湿润な時代には起こらないというのが研究者の一致した意見でした。ところが、超温暖化期のものであるモンゴルの年縞を調べると、この研究とよく似た急激な変動があったことがわかりました。つまり、いまの地球温暖化の先には、まさに映画のような急激な気候変動が起こり得るわけです」と長谷川先生は熱を込めて話します。

研究室の学生もモンゴルや米国で調査

「恐竜時代の環境を調べて、いまの地球の環境がわかるのかと、一般人は驚くかもしれないですね。誰もやっていない新しい研究に取り組み、社会に役立てたい。これが私のモットーです」と長谷川先生は語ります。

研究室に所属する学生たちも、世界を舞台にして精力的に研究しています。ある学生は、米国中西部を

火星にも地球にもある「鉄の球」の謎を解明!

2018年12月、長谷川先生は名古屋大学などと共同で研究発表をしました。研究対象は、火星にも地球にも存在する「鉄コンクリーション」(球状の小さな物体)。米国とモンゴルの鉄コンクリーションを調べたところ、元々は炭酸カルシウムの球だったとのこと。これが酸性の地下水などに触れて中和し、その過程で鉄分が表面に付着してできたのだといえます。

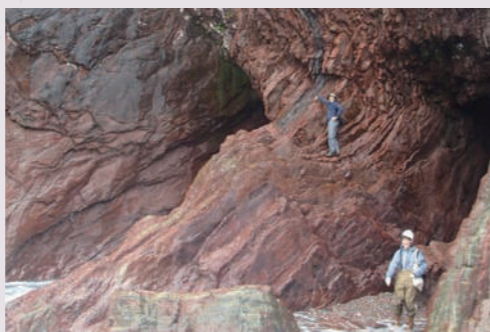
火星の表層には炭酸塩岩がほとんどないという事実を説明でき、かつて酸性の水があったという学説とも合っている今回の研究。10数年来の謎だった、火星の鉄コンクリーション(ブルーベリー)の形成過程を解き明かした新説として注目されています。



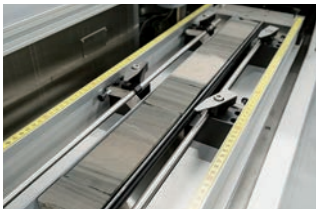
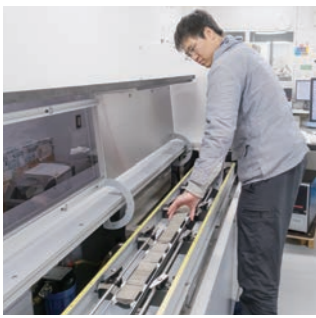
米国の地層中にある鉄コンクリーション

NASAの火星探査車オポチュニティ

MARS



五色の浜に露出する白亜紀海洋無酸素事変が記録された遠洋性チャートの地層



海洋コア総合研究センターμXRFコアスキャナー



白亜紀年縞のコア試料

ぼくらの キャンパスライフ



高知大生の今にエール!

コンクールで金賞も 正直、悔しい!

「高知大学合唱団」は、設立から47年という長い歴史を持つ老舗サークル。現在、23名の団員が練習に励んでいます。全国から多くの学生が集まる高知大学のサークルらしく、団員の出身県もさまざま。また、高知県立大学や高知工科大学の学生も参加しています。

活動の柱のひとつが、全日本合唱コンクールへの出場です。「コンクールに向けて、課題曲と自由曲を練習します。9月の開催なので、夏休み返上で練習し、合宿も行いました」と話すのは、団長の吉田晶さん(農林海洋学部3年生)。その甲斐あって、第71回四国支部大会の大学ユース合唱の部で金賞を獲得しました。

しかし、栄えある受賞にもかかわらず、吉

田さんの表情はいまひとつ。というのも、全国大会の切符を逃したからです。「同じく金賞を受賞したほかの大学が、全国大会に出場することになりました。正直、悔しいです」。あと一歩というだけに、悔しさもひとしおとか。「でも、精いっぱいやり切ったと実感しています」と話します。

定期演奏会では オリジナル劇も披露

「高知大学合唱団」の特徴は、初心者の方が多い。「ぼくも高校時代まで、合唱の経験はほとんどありませんでした。偶然、団長にポストの場所を訪ねたことから、勧誘されて…。もともと歌うことは好きだったし、練習を見学したら先輩たちが楽しそうに歌っていて、入団を決めました」と話すのは菊田航平さん(農林海洋学部2年生)。じつは吉田さんも初心者で入団しました。

また、男性団員の割合が高いのも特徴のひとつ。吉田さんはそのメリットについて、「女性の比率が高い合唱団が

多いのですが、なぜかこちらは男性団員が多い。おかげで、男声の歌声によってハーモニーに生まれる力強さが合唱団の持ち味です」と話します。

初心者の新入団員を指導するのは、先輩の務めです。「私たちは指導者を持たず、普段は学生が主体となって、曲を決めたり、どのように歌うのかを考えたりしています。新入団員の指導も含め、団員同士で技術を高め合っているんです」と吉田さん。曲の解釈をめぐって、時には議論を重ねながら、曲を仕上げていくと言います。「練習のたびにうまくなり、出来栄が変わっていきます。その場でしか響かない音楽であることが合唱の魅力ですね」と吉田さんは話します。

このような練習の集大成が、毎年12月に開催する定期演奏会。4部構成でクラシックからポップスまで歌い、オリジナル劇も上演するバラエティーに富んだステージです。「3年生が中心になって運営し、日程や会場、曲決めなどを行います。2年生は渉外や会計などの実務と、劇のシナリオ製作や劇中歌の選定などを行って、次回の定期演奏会の練習をするようにしています」と吉田さん。2018年12月23日に高知県立美術館ホールで行われた定期演奏会では多くの観客を迎え、日ごろの成果を披露しました。定期演奏会終了とともに、3年生は引退して代替わり。2年生を中心に新たにスタート。「合唱団に入って良かった、と思える活動にしていきたいと思います」と菊田さんはこれからの抱負を語っていました。



2 心をひとつに、 響け!ハーモニー 「高知大学合唱団」



「高知大学合唱団」

毎週月曜、木曜、金曜に朝倉キャンパスなどで練習。小学校や児童クラブ、高齢者施設などで、ボランティアの訪問演奏会を催すこともある。「楽しんでもらえると、本当にうれしいです。依頼があれば、喜んで参上します!」と団長。

「かめイズム」 ① 毎週、浜でウミガメ調査 頑張る同好会



上陸や産卵はないか? 長さ4キロの砂浜を歩く

初夏から夏の毎週末、高知県東部・芸西村にある景勝地、琴ヶ浜をうつむき加減に歩く若者たちがいます。彼らが探しているのは、波打ち際から浜の奥へと続く砂の上に描かれた曲線。ウミガメが産卵のために上陸したときにできる足跡です。

彼らは四国初のウミガメ同好会、その名も「かめイズム」の面々。2018年4月、初代会長を務める高田光紀さん(理学部4年)ら、「海洋動物学研究室」に所属するメンバーを中心として発足しました。その後、ウミガメに興味のある学生たちが、学部の垣根を超えて続々と参加。いまでは総勢23名となり、精力的かつユニークな活動を行っています。

活動のメインは、琴ヶ浜でのウミガメの上陸と産卵、孵化率の調査。「高知県にはウミガメが産卵する砂浜が何カ所もあり、琴ヶ浜



ウミガメ同好会「かめイズム」

調査活動などのほか、毎週水曜に朝倉キャンパスで定例会を開催。同好会の名は、土佐市の酒蔵「亀泉」に由来しているとか。海洋動物学研究室のウミガメ研究者、斎藤知己准教授が顧問。

もそのひとつです。しかし、まだ調査されていないようなので、ぼくたちがやってみようと思えました」と高田さん。メンバーは産卵シーズンの5月~8月、全長約4キロにわたる琴ヶ浜をくまなく歩きます。上陸跡を見つけると、砂の下に卵があるかどうかを確認。産卵していたら、周りに杭を打ってロープを張り、プレートを立てて、ウミガメの卵があることを知らせます。

こうした調査により、琴ヶ浜には2018年、ウミガメが16回上陸し、8回産卵したことがわかりました。「孵化率については、台風でほとんどの卵が流されたため、あまり調べることができなかったのが残念です。ただ、わかったこともあって、卵が孵化しやすい砂の温度は27℃~31℃なのですが、琴ヶ浜は平均33℃とやや高かったんですね。これが孵化率に影響してはいないか、今年もっと深く調査したいと思っています」と高田さん。

「ウミガメ会議」に参加 学園祭では「ミニ水族館」も

フィールドワーク以外では、全国の大学のウミガメサークルが毎年、持ち回りで主催する「学生ウミガメ会議」への参加も大きな活

動のひとつ。2018年は東京海洋大学で開かれた会議に参加し、活動紹介や交流会などを行いました。研究者の学会「日本ウミガメ会議」にも参加したかったそうですが、孵化率調査ができなかったため断念。今年はずいぶん研究発表をと意気込んでいます。

高知大学の学園祭「黒潮祭」にも力を入れて取り組みました。初参加の2018年は、活動内容を紹介するとともに、ミニ水族館「土佐の海」を披露。メンバー自ら採集してきた魚を10数基の水槽に展示しました。

生物好きにはたまらない「かめイズム」の活動。古賀十牙さん(理工学部2年)は「小さな頃からカメ好きなので、入会を即決しました。ウミガメを間近で見ることができて最高です。水族館の採集では、高知の豊かな自然を実感することができました」と話します。永江菜奈さん(理工学部2年)は「海洋動物学研究室のウミガメ調査に参加し、とてもおもしろかったので入会しました。一番感動したのは、卵をさわったときです。とてもやわらかいんですよ」と声を弾ませます。

今年、結成2年目を迎える「かめイズム」。さらに楽しく、一層アカデミックな活動が期待できそうです。





高知大学 フォトコンテスト

昨年に引き続き開催された高知大学フォトコンテスト。第2回目の募集テーマは「私が紹介したい高知大学」
大学構内の風景、教育、研究活動、サークル活動などの魅力が伝わる写真を募集し、7点の入賞作品が決定しました!

募集期間:2018年7月13日~10月10日
応募対象:高知大学の学生・教職員



「友達」

物部川の河川敷で花火をしたこの日は、まさかの強風。ろうそくの炎が消えないように皆で火を守ります。

学生 桶谷 昌宏 2018年6月撮影



「秋の始まり-高知のマチュピチュから-」

撮影場所は大豊町八畝地区。学生も関わるイベントがこの日行われ、その時に撮った一枚。

学生 学生団体Act 2018年9月撮影



「一度きりの輝き」

3号館前のイチョウの木。1度紅葉した葉の命は2度と戻らぬことなく散っていく。その輝きを残したかった

学生 翔(かける) 2017年11月撮影



「賑やかな夜」

おうちハウスの前のライトアップです。

学生 棚瀬 旺和 2017年11月撮影



「涼を取る赤牛」

今年は猛暑で、放牧場の木陰に赤牛が集まってました。珍しい光景だったので思わず写真を撮りました。

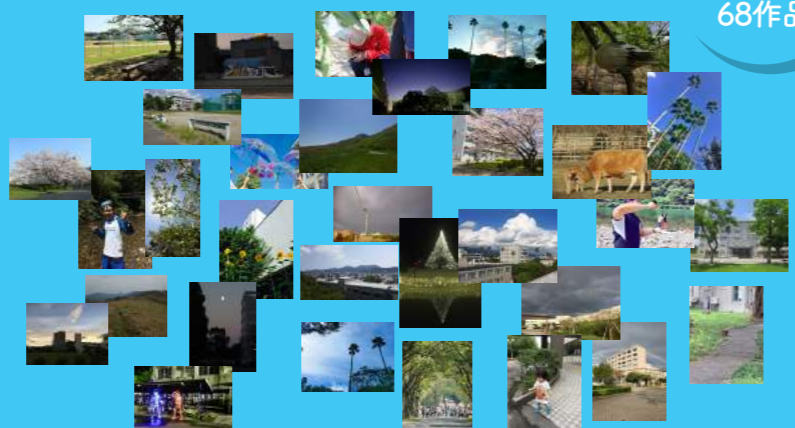
職員 今安 清光 2018年8月撮影



2018年12月5日
入賞作品表彰式



学長から入賞者に表彰状と記念品が授与されました。



応募点数
33名
68作品

「応募ありがとうございました！」

「フィールドサイエンス実習“田植え”」

農林海洋科学部1年生必修のフィールドサイエンス実習。

職員 今安 清光 2017年5月撮影



「高知大学 キャンパスウエディング」

高知大学卒業生のキャンパスウエディングです。大学で出会った二人が最高を撮影。立派な二人と大学に拍手

職員 池本 強 2018年8月撮影



第58回室戸貫歩を開催

空手道部主催の第58回室戸貫歩を11月24日(土)・25日(日)に開催しました。室戸貫歩は昭和36年に空手道部員が心身鍛練のため、体力と精神力の限界に挑戦するという目的で始めた行事。高知大生をはじめ教職員と市民ら408名の参加者は、高知市の朝倉キャンパスから室戸岬までの約90キロの道のりを夜通し歩き、制限時間30時間以内でのゴールを目指しました。

開会式では、櫻井克年学長が参加者に激励の言葉をかけ、空手道部高橋宏明主将と共に「頑張るぞ〜!」の気合のかけ声を行い午前9時に一斉スタート。

沿道では、地域住民による温かい豚汁などの支援もあり、足の疲れにも負けずに283名がゴールの室戸岬に到着しました。



「平成30年度地方大学・地域産業創生交付金」高知県産学官プロジェクトが始動

高知県が申請していた産学官プロジェクト「I o P (Internet of Plants)」が導く「Next次世代型施設園芸農業」への進化が内閣府の平成30年度地方大学・地域産業創生交付金の交付対象事業に採択されました。向こう10年間で73億円の事業費が投じられる事業の中で、本学は物部キャンパスを拠点に地域の中核的産業振興や専門人材の育成を進め、キラリと光る地方大学を目指していきます。



第3回高知大学学長杯留学生による日本語スピーチコンテスト

12月5日(水)、第3回目となる「高知大学学長杯留学生による日本語スピーチコンテスト」を開催し、本学で学ぶ10名の留学生が出場しました。学長をはじめ学内外の関係者のほか、日本人学生が運営する国際交流団体や会場の参加者も審査に加わり、最優秀賞には「匠の心」をテーマに発表した中国からの留学生王広燕(オウ コウエン)さんが選ばれ、櫻井学長からトロフィーが授与されました。

参加者からは、「留学生の考えや出身国の事情を知ることのできる良い機会であった。」「普段聞くことのできない留学生目線での日本への評価を知ることができた。」などの感想が寄せられました。



高知大学アメリカンフットボール部(Marine Corps) 2018年学生アメリカンフットボール中四国リーグ初優勝

10月21日(日)、広島広域公園球場にて、学生アメリカンフットボール中四国リーグ決勝戦(主催:中四国アメフト連盟)が行われ、高知大学(Marine Corps: マリンコーズ)は創部以来の悲願であった中四国リーグを初めて制覇しました。これにより、中四国代表として全日本大学選手権への出場を決めました。



第9回ホームカミングデーを開催

11月4日(日)、「絆 ふれあい〜過去、現在、未来〜」をテーマに記念式典や記念講演、各学部イベントに約160名の卒業生、学生、教職員らが参加しました。

記念式典では、櫻井克年学長、田中拓美同窓会連合会会長の挨拶に続き、高知大学合唱団と参加者全員で学歌を斉唱した後、二世以上により高知大学で学ばれた家族を表彰する『家族de高知大』を実施し、申し出のあった5組が紹介され、感謝状と記念品が贈られました。

記念講演では、NPO法人黒潮実感センター長の神田優氏(高知大学農学部卒)が、「高知の端っこ柏島発 持続可能な里海づくりに向けた20年の歩み」と題し、子ども達を核としてダイビング業者、漁業関係者及び林業関係者の協力関係を築き、海の中の森づくりを行う活動などについて語り、好評を博しました。

そのほか、高知大学写真展、裏千家茶道部によるお茶会、よさこいサークルの演舞、同日開催の学園祭「黒潮祭」の模擬店など、終日賑わいました。



第21回青少年のための科学の祭典 高知大会を開催

12月9日(日)、朝倉キャンパスで「第21回青少年のための科学の祭典高知大会」を開催しました。本大会は高知大学教育学部に事務局を置き、教員と教育委員会や企業等が連携して、科学技術の振興と多くの青少年に科学の面白さを体験してもらうことを目的に毎年開催している。会場は、親子連れら約1000人以上が来場し、30のサイエンスコーナーで、人気の温度や色が変わる液晶アクセサリ作成や地球と宇宙など楽しみながら科学を学びました。



平成30年度大学教育再生加速プログラム(AP)事業 シンポジウムを開催

12月7日(金)、高知市文化プラザかるぼーにて、「卒業後につながる学びの質保証〜求められるコンピテンシーとは〜」と題して、大学教育再生加速プログラム(AP)事業シンポジウムを開催し、高等教育関係者を中心に約130名が参加しました。

シンポジウムでは、京都大学の松下佳代氏、文部科学省の河本達毅氏、経済産業省の川浦恵氏による基調講演、AP事業テーマV幹事校である日本福祉大学の齋藤真左樹氏による挨拶、高知大学の小島郷子副学長及びベネッセ教育総合研究所の木村治生氏による本学AP事業の取組報告が行われました。引き続き、講演者及びリクルートワークス研究所の豊田義博氏、高知大学の奥田一雄理事並びに本学学生によるパネルディスカッションが行われ、大学による卒業時の質保証の取組と産業界が求める人材について情報共有を図ることができました。

また、AP事業採択校11校によるポスターセッションも実施され、各大学の取組に関する意見交換が活発に行われました。



高知大学から寄附のお願い

高知大学修学支援基金

本基金は、修学意欲を持ちながら、厳しい家計状況によりそれを断念せざるを得ない学生に対して給付する奨学金として活用します。



高知大学さきがけ志金

高知大学の理念である『地域社会及び国際社会に貢献しうる人材育成と学問、研究の充実・発展を推進する』ため、これらに対する事業の支援とその環境の更なる整備・充実を図ることを目的とします。

- 対象者/本資金の趣旨に賛同いただける個人・法人・団体等
- 金額/個人による寄附金につきましては、1口1千円を単位とします。法人・団体等による寄附金につきましては、1口1万円を単位とします。(本志金の趣旨をご理解いただき、なにとぞ複数口でのご協力をお願いします。)

お問い合わせ先 高知大学総務部総務課 TEL:088-844-8100 FAX:088-844-8738

E-mail:sj02@kochi-u.ac.jp URL:http://www.kochi-u.ac.jp/

「高知大学修学支援基金」及び「高知大学さきがけ志金」(教育・研究・社会貢献活動による支援)に寄附を行う際に、インターネット決済サービスによる「クレジットカード決済」、「コンビニ決済」、「Pay-easy決済」がご利用いただけます。

高知大学 古本募金

読み終わった本で高知大学をご支援ください。高知大学古本募金は、皆様から読み終えた本・DVD等をご提供いただき、その査定換金額が高知大学に寄附される取組です。古本募金を通じて集まった寄附金は「高知大学さきがけ志金」として受け入れ、本学の教育研究・社会貢献活動の向上のために役立てられます。

●お問い合わせ先

☎0120-29-7000(受付 9:00~18:00)

高知大学古本募金 検索

運営協賛:古本募金きしゃぼん(嵯峨野株式会社)

第41回中国四国学生陸上競技選手権大会 陸上部3種目に優勝!

10月26日(金)~28日(日)に広島市で開催された「第41回中国四国学生陸上競技選手権大会」において、陸上競技部が3種目(女子1500m、女子5000m、女子三段跳び)で優勝しました。また、2位2種目(男子十種競技、女子走幅跳)、3位2種目(女子5000m、女子10000mW)の表彰台を含め8位内入賞は5種目と活躍しました。

- 優勝/朝日佳奈さん(人文4・女子1500m)
- 森野純夏さん(地協1・女子5000m)
- 山中映莉華さん(教育3・女子三段跳)
- 2位/菅沼拓都さん(農4・男子十種競技)
- 山中映莉華さん(教育3・女子走幅跳)
- 3位/朝日佳奈さん(人文4・女子5000m)
- 糸山美歩さん(人文社1・女子10000mW)



高知大学で開催するイベントをご紹介します。

Event information 2019 Winter 冬号

平成30・31年度 式典のお知らせ

平成30年度高知大学
大学院修了式
学部卒業式



場所 高知県立県民文化ホール

3/22
(金)

平成31年度高知大学
大学院・
学部入学式



場所 高知県立県民体育館

4/3
(水)

全国ネットワーク事業 平成30年度COC/COC+

全国シンポジウム 「見える大学 魅せる大学」

2/19・20
(火) (水)

場所 高知県立県民文化ホール(2/19)
高知商会館(2/20)

時間 13:30~17:45(2/19)
9:00~11:40(2/20)

文部科学省 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業COC/COC+事業における全国シンポジウムを開催します。日本全国や世界中から学生が集まるような地方大学づくりの推進について議論します。ジャーナリスト「未来の年表」著者で高知大学客員教授の河合雅司氏による基調講演やパネルディスカッション、事例発表を予定しています。



高知大学地域協働学部
「地域協働教育推進会議」
学習成果報告会・交流会

地域協働 2018年度の歩み

2/9
(土)

場所 こうち男女協働参画センター「ソール」

時間 13:00~15:30

地域協働学部の学生が1年間の学びの成果をブース展示やトークセッションを用いて披露します。

平成31年度 入試案内

	募 集	出願期間	試験日	合格発表	入学手続き期間
推薦入試Ⅱ	教育学部学校教育教員養成課程 幼児教育コース/教育科学コース・教科教育コース・特別支援教育コース	1/21(月)~25(金) (必着) (インターネット出願)	2/8(金)	2/13(水)	2/14(木)~19(火)
	農林海洋科学部		2/3(日)		
一般入試 前期日程	全学部 土佐さきがけプログラム (グリーンサイエンス人材育成コース)	1/28(月)~2/6(水) (必着) (インターネット出願)	2/25(月)・26(火)	3/7(木)	3/8(金)~15(金)
一般入試 後期日程	全学部 (教育学部の一部コース・医学部医学科・地域協働学部を除く)	1/28(月)~2/6(水) (必着) (インターネット出願)	3/12(火)	3/22(金)	3/23(土)~27(水)

出願はインターネット出願のみとなります

四国の国立5大学(徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学)が共同で開設するインターネット出願サイトから出願を受け付けます。あらかじめ利用登録をするだけで5大学への出願がスムーズに行えます。

大学案内・選抜要項等の資料をパソコン・スマホ・携帯電話からテレメール請求できます。

インターネットの場合
(携帯電話・パソコン)

<http://telemail.jp>



入試に関するお問い合わせ先
(ご意見・ご質問にお応えします。)

学務部入試課

TEL.088-844-8153
E-mail:nys-web@kochi-u.ac.jp

・入試に関する最新情報(随時更新中)
<http://nyusi.kochi-u.jp>

高知大学の最新情報を伝えたい THE こうちユニバーシティCLUB

高知大学の教育、研究、地域貢献等のホットな情報をお届けします。

スポンサー企業/ソフテック

高知大学のHPまたは番組ブログで過去の放送が視聴できます!

●FM 高知 (81.6MHz)

放送中

毎週 日曜日 (9:30~9:55)



●WIZ RADIO(ラジオ視聴用の無料アプリ)をダウンロードいただくとFM高知の放送が全国どこでもスマホで視聴できます!

●お問い合わせ先 皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。



高知大学
Kochi University

高知大学総務課

高知大学 検索 <http://www.kochi-u.ac.jp/>

メルマガ配信中!

●月2回配信(第2・4金曜日)

高知大学からメールマガジンを配信しています。大学ホームページの「入試情報」[メルマガの登録はこちら]へ!

登録はこちら <http://daigakujc.jp/kochi-u>



お知らせ

広報誌 Lead のバックナンバーを高知大学のHPでご覧いただけます。

